

A 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台

壁を越えて～揺さぶりあい、励ましあい、共に育つ

【時間】10:30～16:00(受付10:00～) 【会場】1階オープンスクエア

【対象】すべての人、障害のある人と家族・支援者、福祉事業所の人、特別支援学校・学級の人、市民センターなどで社会教育に関わる人 など

このコンファレンスが仙台で開催されて3回目になります。ここで発信されてきたのは、障害のある人と障害のない人が「混ざる」場をつくることの大事さ、そのなかでの揺さぶりあいから生まれる学びあい、育ちあいの可能性です。障害のある人が好きなことや知りたいことを気軽に語れ、試せる場「スウブノアカデミア」では、参加者相互の「揺さぶる・揺さぶられる」という営みが頻繁です。参加者たちが、この場を活かして、どのように自らをアップデートさせてきたのか。その成果を確認します。そのほかのさまざまな障害のある人の学習の場についても、仙台市の教員の調査や実践に学びます。

京都府与謝野町は、まだ日本で重度障害児の養護学校への就学義務化が実現されていない段階から、先駆的に障害児の就学を保障してきました。その延長に生まれた「よさのうみ福祉会」は、多くの「あたりまえ」を実現できないでいる障害のある人たちから、その「あたりまえ」を求める願いを引き出し、壁を越える挑戦に伴走しながら、人間らしく生きつづけられる環境づくりに粘り強く取り組んでいます。

仙台市では近年、市民センター(公民館)などで、共に混ざり学びあう場が増えつつあります。「人がまちをつくり、まちが人を育む」学びのまち仙台において、そういった場をどのように広げていくのか。よさのうみ福祉会にも学びながら、長期的な視野で考えます。

第1部 【時間】10:30～12:30 【定員】約80人

はじめに「障害者の生涯学習施策」 文部科学省障害者学習支援推進室

① 体験の共有「スウブノアカデミア2024 成果発表会」

スウブノアカデミアに参加した人や、一緒に活動したコーディネーター等が、それぞれの「学び」の体験を発表します。

進行 武田愛、松山正哉

「ラフターヨガ～笑いで心と体をほぐす」せこ三平、はるか

「スポーツは気晴らし!?～つくって遊んでデボルターレ!」吉田広子、伊藤光栄

「イヤな体験と、みんなの折り合い～ゆるやかな癒し方」清水葉月、佐竹真紀子

「ボウリングとコーヒーと。～あなたと楽しみたい大人の休日」阿達慎也、松山正哉、柴崎由美子

「ワクワク妄想旅行会～理想の旅プランを立てよう」taku、世界一周、渡邊悠太

② 調査・実践報告「障害のある人と取り組む学びの活動 in 仙台」

社会教育主事講習を受講した教員が、仙台市におけるさまざまな障害者の生涯学習活動を調査し、ときに、企画運営に深く関わりました。学校教育、社会教育、福祉施策と、障害のある個人をとりまく環境について、調査・実践したことを報告します。

登壇 菊地敏子(仙台市立東六番丁小学校)、鈴木慎吾(仙台市立台原小学校)

休憩

第2部 【時間】13:30～16:00 【定員】約80人

進行 石井山竜平(東北大学)、池澤美月(介護士)

① おはなし「未来をひらく～よさのうみ福祉会の実践」

障害児・者を積極的に包摂することに先駆的に取り組んできた、半世紀の挑戦と歩みについてお聞かせします。

登壇 青木一博(社会福祉法人よさのうみ福祉会)

② 考えるテーブル「あたりまえってなんだろう？」

障害のある人もない人も、このテーマについて一緒に語りあい、考えます。

ファシリテーター 古藤隆浩(居場所妄想会)

グラフィックレコーディング 佐竹真紀子、スウブノアカデミア参加者たち

③ ディスカッション

一日のプログラムをふまえて、障害のある人の生涯学習や、共生できるまち・仙台の未来について話しあいます。

青木一博、菊地敏子、鈴木慎吾、菅井友裕(仙台市生涯学習支援センター)、会場のみなさん

終わりに 感想とおもいの共有時間

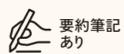
主催：仙台市教育委員会、文部科学省 共催：せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団) 後援：宮城県教育委員会 企画・運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン 協力：一般社団法人NOOK 仙台市・生涯学習を通じた共生社会推進事業 文部科学省委託事業令和6年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」

参加無料

要申込



手話通訳あり



要約筆記あり



共に学び、生きる共生社会コンファレンス

文部科学省では、障害のある人の学校卒業後の学びの場が充実していないことを課題とし、平成29年度から障害のある人の生涯にわたる学びや文化芸術・スポーツ活動への支援を推進しています。

これを受け仙台市では、令和3年度からNPO法人が行政と協働しながら障害者の生涯学習に取り組んできました。4年目となる今年度は、仙台市の関係部局や外郭団体等(福祉・教育・就労・男女共同参画・市民活動・文化芸術・スポーツ)によるコンソーシアム(共同体)をつくり、さらなる支援体制の整備を進めています。この新たな連携のもと、市民への普及啓発のため「共生社会コンファレンス」を開催します。

スウブノアカデミアとは

障害のある人の「学びの場」を考えるプロジェクトです。学びたい本人が「好きなこと」「やってみたいこと」からワークショップや講座などのプログラムを企画し、運営しています



録画配信

当日の様子は、後日オンラインで配信予定です。日程が決まり次第、SOUPのWEBサイトにてお知らせします。

録画配信

B つくる・みる・はなす・いる とともに表現する場ってどんなところ？

【時間】10:15～12:15(受付10:00～) 【会場】1階オープンスクエア 【定員】40人

【対象】障害のある人との創作活動やオープンアトリエに関心のある方、障害の有無に関わらずアトリエや絵画教室を開いている方、地域の居場所づくりに取り組みたい方、テーマに関心のある方はどなたでも

その人らしく自由に表現を楽しめる場があることは、わたしたちの生活を豊かにしてくれます。このトークでは、障害のある人、世代や国籍の異なる人などがともに表現する場をひらいてきた宮城県内の事例をもとに、これからの場づくりに向けて、活動の魅力や環境をつくるうえで工夫を共有します。

① あいさつ

宮城県内のオープンアトリエの現状について

② 事例紹介

表現をシェアするって楽しい!～「アトリエつくるで」

登壇 アトリエつくるでファシリテーター-佐竹真紀子、アトリエつくるで参加者

多様な“関わりしろ”のつくりかた～世代や国籍の異なる人たちがアートでつながる

登壇 高田彩(ビルド・フルーガス代表、塩竈市杉村惇美術館統括)

③ ディスカッション

コメンテーター 郷泰典(宮城県美術館教育普及部上席主任研究員)

進行 高橋梨佳(NPO法人エイブル・アート・ジャパン)

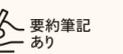
主催：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン 助成：公益財団法人仙台市市民文化事業団(2024年度文化芸術を地域に活かす創造支援事業)

参加無料

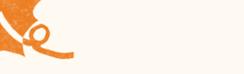
要申込



手話通訳あり



要約筆記あり



参加無料

申込不要

直接会場へ



D みんなで話そう! 新しい文化施設のこと

(仮称)国際センター駅北地区複合施設(音楽ホール+中心部震災メモリアル拠点)に関するディスカッション

【時間】14:30～16:30(受付14:00～) 【会場】1階オープンスクエア

【定員】ディスカッション参加30人程度、聴講のみ30人程度

仙台市では、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設を、青葉山エリアに整備する計画を進めています。この施設は「年齢、心身の特性、社会的文化的背景等に関わらず、あらゆる人に開かれた施設」を目指し、そのための様々な事業も行っていきます。この新しい文化施設の設計や運営指針の策定にあたり、障害のある方、その活動の支援に取り組まれている方からの生の声を伺うため、本プログラムを開催します。「こんな施設だったら足を運びたい」「こういう環境なら鑑賞や活動がしやすい」…そのようなことを自由にディスカッションいただく場です。どうぞお気軽にご参加ください。

① ガイダンス (約30分)

新しい施設の整備計画や本日のディスカッションの進め方について説明します。

② ディスカッション (約60分)

少人数のグループに分かれ、新しい施設に関する意見を出し合います。(各グループには、意見交換の進行役としてファシリテーターがつかます)

③ 発表・まとめ (約30分)

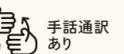
各グループで出た意見をファシリテーターが発表し、仙台市担当部局や設計者と共有します。

コーディネーター 本江正茂(東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授/ (仮称)国際センター駅北地区複合施設整備アドバイザー)

主催：仙台市(青葉山エリア複合施設整備室・防災環境都市推進室) 企画協力：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン 協力：特定非営利活動法人ワンダーアート(あそびの場運営)

参加無料

要申込



手話通訳あり



要約筆記あり



施設外観イメージ 作成：(株)藤本社建築設計事務所

「あそびの場」を開設します!

アートに囲まれながら誰でも思い思いに時間をすごせる「あそびの場」を、会場内に設けます。「子どもと一緒に来たい」「途中で休息や気分転換できる場所が欲しい」という方も、ぜひ本イベントにご参加ください。

【開設日時】2月2日(日) 14:15～17:00



C 手ではなすおはなしの会

【時間】①10:20～11:20(受付10:00～) ②13:00～14:00(受付12:40～) ※①の回は「アニメーション」、②の回は手話を使った遊びを行います。

【会場】①7階スタジオa・b ②1階オープンスクエア 【定員】20人程度(お子さま優先)

【対象】幼児～小学生程度(大人も参加できます)

手話による絵本の世界へようこそ!

ボランティアグループ「まほうの手」が、手話による絵本の読み聞かせを行います。今回は、絵本の世界をもっと楽しむための活動「アニメーション」や手話を使った遊びも行います。聞こえる子ども大人もどなたでも参加できます。一緒に手話による絵本の世界を楽しみませんか?

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)

E 障害と芸術文化のブース

【時間】10:00～18:00 【会場】1階オープンスクエア

障害者芸術活動支援センター@宮城(愛称:SOUP)は、障害のある人と文化芸術をつなぐ中間支援のセンターとして活動しています。今回は「生涯学習」がテーマです。リラックス・パフォーマンスやふれあいコンサートなどの文化プログラム、スポーツや学びの活動など、さまざまな取り組みを紹介します。

参加団体

宮城県障害者福祉センター、塩竈市生涯学習課、塩竈市杉村惇美術館、気仙沼市立松岩公民館、特定非営利活動法人ボラリス、一般社団法人Golazo、仙台市・生涯学習を通じた共生社会推進事業、仙台市生涯学習支援センター、仙台・宮城ミュージアムアライアンス、せんだいメディアテーク、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、仙台市文化振興課・公益財団法人仙台市市民文化事業団、一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会、スウブノアカデミア、他

主催：宮城県(令和6年度宮城県障害者芸術文化活動支援業務) 運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン



撮影：三浦晴子

特別展示「あいの実デザインプロジェクト」

社会福祉法人あいの実を利用する医療的ケア児者のみなさんと、テキスタイルデザイナーの大江ようさんと一緒に取り組んでいるデザインプロジェクトの活動や成果物を紹介します。

主催：社会福祉法人あいの実 協力：大江よ(TEXT) 助成：一般財団法人善い心を未来へつなぐ財団(令和5年度障がい者支援施設助成金)



撮影：三浦晴子

F ニューカマーセブン

【時間】10:00～18:00 【会場】1階オープンスクエア

宮城県内で活動するニューカマー7人の作品を紹介します。

参加作家

itsuki(富谷市)、鏗鍋康太(大崎市)、川井智子(仙台市)、鈴木智博(栗原市)、田村貴明(仙台市)、RAPBIT(仙台市)、NPF_reina(南三陸町)

協力：社会福祉法人栗原秀峰会くまこ「ゆめ工房」、社会福祉法人なのはな会こまくさ苑、社会福祉法人洗心会のぞみ福祉作業所、特定非営利活動法人学びの庭 就労支援センタージェムストーン、特定非営利活動法人ワンダーアート(Wonder Workers)、宮城県障害者アート作品を通じた相互理解促進業務

主催：宮城県(令和6年度宮城県障害者芸術文化活動支援業務) 運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン



撮影：三浦晴子



itsuki(ハート)2024

G ひだまりのギフト展

【時間】10:00～18:00 【会場】1階オープンスクエア

宮城県内の福祉施設が手掛ける、お菓子と雑貨を取り揃えたポップアップストアです。お茶やコーヒーにぴったりな焼菓子や、個性が光るアート雑貨など、おなかも心も満たされるアイテムが並びます。お気に入りを見つけてぜひお立ち寄りください。

参加団体

Aiファクトリー(仙台市)、希望の星(仙台市)、きゅう(石巻市)、コッペ(仙台市)、多夢多夢舎中山工房(仙台市)、NOZOMI PAPER Factory(南三陸町)、ふおれすとあゆみ(仙台市)、ワークスペースばぼ(仙台市)、ワンダーアート(仙台市)、他

主催：宮城県(令和6年度宮城県障害者芸術文化活動支援業務) 運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

開催中

「GOOD JOB STORE」によるポップアップストアがオープン!全国の障害のある作家の作品や、福祉施設でつくられたユニークな商品などが並びます。

【会場】カネイリミュージアムショップ6(せんだいメディアテーク1階)

【会期】1月11日(土)～2月25日(火) 10:00～20:00



撮影：三浦晴子

H としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

【時間】10:00～18:00 ※2月3日(月)は2～4階 休館日

【会場】1階オープンスクエア

読書には、紙に印刷された文字を読むだけではなく、いろいろな楽しみ方があるのを知っていますか?せんだいメディアテークと仙台市図書館が持っているバリアフリー資料を紹介します。

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)



撮影：三浦晴子

6日間のタイムテーブル

会場	コンテンツ	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	2月3日(月)	2月4日(火)	2月5日(水)
1階 オープンスクエア	A 共に学び、 生きる共生社会 コンファレンス in 仙台		[第一部] 10:30~12:30 (受付10:00~)				
	B つくる・みる・はなす・いる ともに表現する場って どんなところ?			10:15~12:15 (受付10:00~)			
	C 手ではなす おはなしの会②			13:00~14:00 (受付12:40~)			
	D みんなで話そう! 新しい文化施設 のこと			14:30~16:30 (受付14:00~)			
	E 障害と芸術文化 のブース	← 10:00~18:00 →					
F ニューカマーセブン	← 10:00~18:00 →						
G ひだまりの ギフト展	← 10:00~18:00 →						
H としょかん・ メディアテークによる バリアフリー資料展示	← 10:00~18:00 →						
7階 スタジオ a-b	C 手ではなす おはなしの会①			10:20~11:20 (受付10:00~)			

同時期開催 作品展や映画の上映会もあるよ

第55回「私たちの作品展」

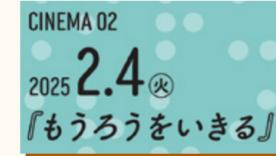
[時間] 1月31日(金)~2月5日(水) 10:00~18:00 ※最終日は14:30終了
[会場] 6階ギャラリー a
主催: 障害児(者)を守る日実行委員会

知的障害者による芸術祭 第28回「ピュア・ハーツアート展」

[時間] 1月31日(金)~2月5日(水) 10:00~18:00 ※最終日は15:00終了
[会場] 6階ギャラリー b
主催: 仙台市知的障害者芸術文化協会

smtシネマ『もうろうをいきる』(音声解説・日本語字幕つき)

[時間] 2月4日(火) ①10:00~ ②14:00~
[会場] 7階スタジオシアター
申込不要、入場無料、音声解説は会場内スピーカーから流れます
①10:00~の回のみ、0歳以上入場、ベビーカー入場、上映中の声出しが可能です。
主催: せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)



申込方法

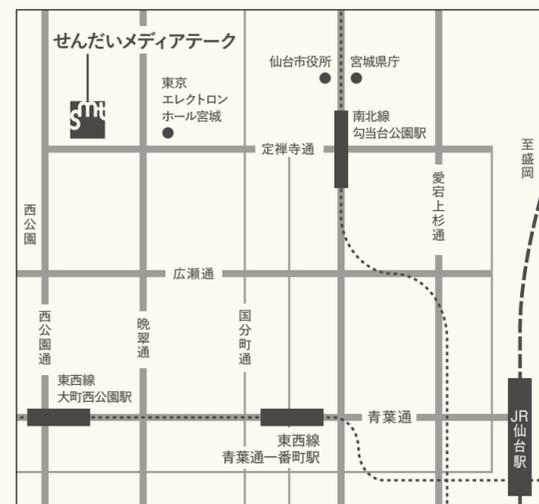
「要申込」のプログラム **A B D** については、WEBサイト内の申込フォーム、または下記の必要事項をご記入の上、電話・FAX・メールにてお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。定員を超えてご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたします。

- 必要事項 ① 参加希望のプログラム ② お名前(ふりがな) ③ 所属・活動
④ 連絡先(居住市町村名、電話番号・FAX・Email) ⑤ 同伴者の有無、必要な配慮など



会場 せんだいメディアテーク

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1



交通案内

- 【徒歩の場合】**
○仙台駅より約30分(約2.0キロメートル)
- 【地下鉄の場合】**
○南北線勾当台公園駅下車、
「公園2」出口から徒歩7分(約450メートル)
○東西線大町西公園駅下車、
「東1」出口から徒歩13分
○東西線青葉通一番町駅下車、
「北1」出口から徒歩17分
- 【バスの場合】**
○仙台市営バス仙台駅前60番
(仙台TRビル前・地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから
「定禅寺通市役所前」経由「交通局大学病院」行きで約10分、
メディアテーク前下車
- 【駐車場】**
せんだいメディアテークのWEBサイトをご覧ください。
→ <https://www.smt.jp/smt/facilities/service>

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 4-1-50-1階

【TEL】070-5328-4208 【Email】soup@ableart.org

【FAX】022-774-1576 【WEB】<https://soup.ableart.org>

WEBサイトは
こちらから



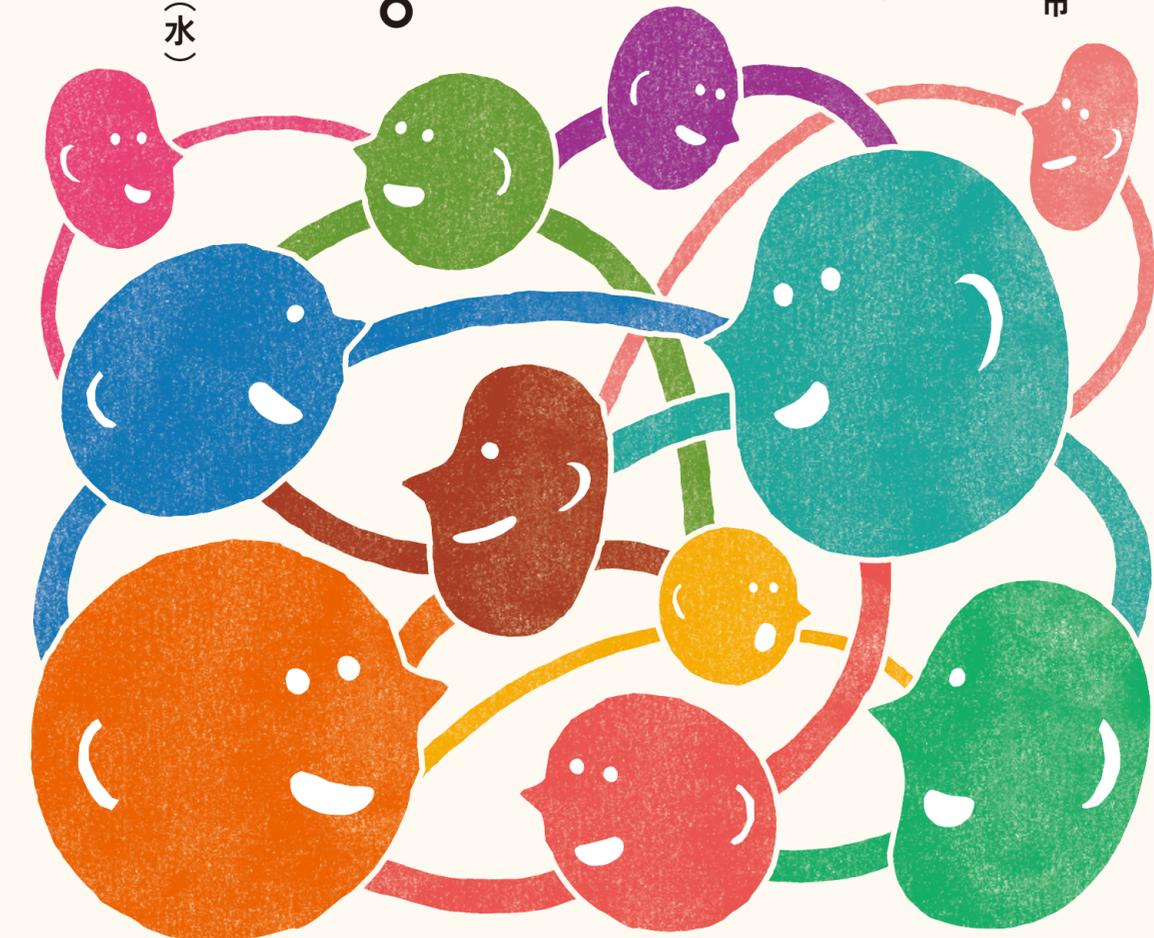
この用紙はリサイクルできます

2025年
1月31日(金)~2月5日(水)
10時~18時 入場無料
会場 せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア他

見本市。

きいて、みて、しって、

第7回
障害のある人と
芸術文化活動に関する大見本市
障害のある人の芸術文化活動を
きく、みる、しる6日間



さあ、見本市でたくさんの人・モノ・ことに出あいませんか。「障害のある人と芸術文化活動」に関する多様な個人・団体・活動を紹介するこの見本市。表現する人たちの様子を知りたい、芸術文化活動の機会や場を探している、活動の相談先を探しているなど、次の一歩を踏み出すヒントとして、各プログラムをお楽しみいただき、新たな出あいの場となれば幸いです。

- 全席自由
- 筆談ボードあり
- 車椅子可
- 多目的トイレあり
- プログラム開催中の入退場可
- 声を出してもOK
- 補助犬OK
- ゆずりあい駐車場あり